



令和6年7月31日

2024年度「地域の元気応援プロジェクト」 13件の採択が決定しました

情報提供

本事業は、広島大学の知見や教員・学生らの力を活用し、地域社会が抱える課題の解決や地域活性化などを目的とした、本学の地域貢献事業のひとつです。地域でさまざまな課題に取り組んでいる団体の皆さんと、本学の教員、学生の3者がチームを作って取り組むプロジェクトに対して助成します。

本学の学生や教員が、地域をフィールドとした実践的な取り組みの中で、専門分野の知識を活用したり、経験や知識を深めたりできる場とするとともに、地域住民が学生・教員と一緒に課題の解決策を考え、活動することで、解決の糸口を見つけたり、地域に活気を取り戻すことを目的としています。

2019年度からスタートした本事業では、これまで44件のプロジェクトを採択し、支援をしてきました。2024年度は、14件の応募の中から、13件（うち4件が新規申請、9件が継続事業）を採択しました。

今回、新規案件として、安芸高田市甲田町「ミツマタの紙すきじゃけえ」が採択されました。安芸高田市甲田町では、ミツマタを使った紙すきが盛んでしたが、現在では廃れてしまい、ささやかな観光資源として位置づけられています。ミツマタは紙幣の原料としても使われており、新紙幣の発行により再注目されています。そこで、ミツマタを使った和紙による新たな工芸品の製作に挑み、中山間地域の再生を目指します。ほかにも、廿日市市宮島での新規事業や、過去に提竹祭の開催などを実施してきた尾道市瀬戸田町での継続事業など、興味深いプロジェクトが目白押しです。

※採択プロジェクト一覧は次ページ

今後、活動状況などは本学のウェブサイトなどを通して随時、情報発信していきますので、ぜひ取材いただきますよう、ご案内いたします。産学連携や地域貢献などに興味のある方は、ぜひご連絡ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/ccc2>

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室地域連携部 三戸

Tel : 082-424-5871

E-mail : chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 2枚（本票含む）



2024 年度「地域の元気応援プロジェクト」 採択プロジェクト一覧

項番	区分	市町	プロジェクト（活動）名	教員所属	教員氏名
1	継続	三原市	空き家解体からはじまるサーキュラーデザインの実装 佐木島における空き家の解体とアップサイクルを通じて新たな空間資源を生み出すモデルプロジェクト(二年目申請：アップサイクルフェーズ)	先進理工系科学研究科	角倉 英明
2	新規	広島市	おしゃべり会でつなぐ地域ママの輪	医系科学研究科	村上 真理
3	継続	東広島市	開発した離乳食「お守りお野菜ペースト」を地域に馴染ませる	人間社会科学研究科	富永 美穂子
4	継続	東広島市	コワーキングスペース「third」を拠点とした未来の安芸津町を担う子供達の教育プログラムの開発	人間社会科学研究科	川田 和男
5	継続	尾道市	住みたい街 しおまちーしおまちに人とスイーツと笑顔を！ー	人間社会科学研究科	富永 美穂子
6	継続	呉市	地域資源に恵まれた倉橋島における音楽の力による新たな地域魅力づくり ---- 地域イノベーションに挑戦!! 音楽の力で地域がどう変えられるか - ---	人間社会科学研究科	大 野 内 愛
7	新規	安芸高田市	ミツマタの紙すきじゃけえ	人間社会科学研究科	伊藤 奈保子
8	新規	廿日市市	重要伝統的建造物群を活かした観光空間のアクセシビリティ向上： 宮島の生活・伝統文化の展示・体験に着目して	人間社会科学研究科	フンク・カロリン
9	継続	呉市	『呉海軍グルメ』を活用した周遊型観光コンテンツ造成	人間社会科学研究科	張 慶在
10	継続	呉市	「音戸の瀬戸」周辺地区の街路デザインビジョン作成 ー歴史を感じる街なみの中で建物修景をデザインする！ー	先進理工系科学研究科	田中 貴宏
11	継続	東広島市	大学・学校・地域が連携したミコシグクの保全と地域の活性化	総合博物館	清水 則雄
12	継続	呉市	地域と学生の協働による中央公園（堺川沿い8ブロック）の賑わいづくり に向けた実証実験 ー3年間の実証実験の成果にもとづく公園づくり提案ー	先進理工系科学研究科	田中 貴宏
13	新規	広島市	戦後広島都市文化を物語る地下倉庫の活用方法を模索し地域文化やアイデンティティの再評価とコミュニティの活性化を図る	先進理工系科学研究科	角倉 英明